

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

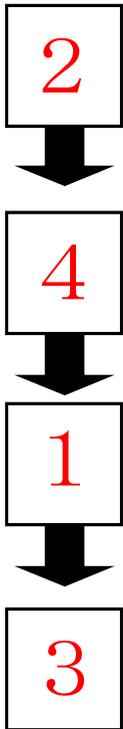
模範解答

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

1 次の1～4の言葉を、国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

レベル6

- 1 パック
- 2 はつか
- 3 はつねつ
- 4 バック



①「は・ひ」②「ば・び」③「ぱ・ぴ」の順で辞典に出てきます。

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】

2 次の文の主語、述語をー線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

レベル6

(1) わたしは、妹と 楽しく 公園で 遊ぶ。

主語 1 述語 5

レベル7

(2) きのお 動物園で きりんが 葉っぱを 食べていた。

主語 3 述語 5

主語は「何が」「何は」「だれが」「だれは」を見つけ、述語は「どうする」「なんだ」「どんなだ」を見つけましょう。

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

3 次の漢字のー線部の読みがなを書き、音読みか訓読みかに答えましょう。
ア 音読み イ 訓読み

レベル7

(1) 体を温めるために、部屋の温度を上げた。

読みがな あたためる

ア・イ

レベル7

(2) 急に寒くなってきたので、上着を着た。

ぎ

ア

「音読み」は、聞いただけでは意味のわかりにくいものが多く、「訓読み」は、聞いただけで意味の分かるものが多いです。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二のことわざの意味としてふさわしいものを、1から4までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 「笑う門には福来たる」

レベル5

- 1 いつもここにこしてしていると、しぜんによいことがめぐってくる。
- 2 いつもここにこしてしていると、あまり気持ちがたわらない。
- 3 いつもここにこしてしていると、わるいことばかりがやってくる。
- 4 いつもここにこしてしていると、よいこともわるいこともめぐってくる。

1

例文…わたしのクラスはいつも明るく笑い声がたえない笑う門には福来たるを絵にかいたようなクラスです。

二 「石橋をたたいて渡る」

レベル5

- 1 どうどうとしたふるまいをすることのたとえ。
- 2 とてもあぶないことをすることのたとえ。
- 3 用心の上にも用心することのたとえ。
- 4 うきうきした気持ちで歩いていることのたとえ。

3

例文…計算テストで百点をとるために、石橋をたたいて渡るように何度もたしかめた。



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の故事成語こじせいごの使い方として正しいものを、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 「矛盾」むじゆん

レベル5

- 1 公園にブランコがあるのは矛盾だらけだ。
- 2 あなたの言いわけは矛盾だらけだ。
- 3 日本の冬がさむいのは矛盾だらけだ。

2

矛盾の意味…物事や話している内容などのつじつまがあっていないこと

二 「推敲」すいこう

レベル5

- 1 わたしが書いた読書感想文の推敲をしよう。
- 2 わたしが書いた読書感想文は推敲になる。
- 3 わたしが書いた読書感想文に推敲される。

1

推敲の意味…文章を何度も練り直すこと



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

模範解答

【言語の問題】

- 1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の に共通して当てはまる「へん」を、1から3までのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

- 一
- 反主直目
- レベル3

- 1 きへん
 - 2 ごんべん
 - 3 さんずい
- 板・柱・植・相

1

- 二
- 由永羊主
- レベル3

- 1 きへん
 - 2 ごんべん
 - 3 さんずい
- 油・泳・洋・注

3



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の文のうち、修飾語しゅうしょくごに当たる言葉を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 赤い風船が、木の上をふわふわととんでいる。

レベル7

- 1 赤い
- 2 風船が
- 3 とんでいる

1

二 わたしは、きのう友だちと図書館へ行った。

レベル7

- 1 わたしは
- 2 図書館へ
- 3 行った

2

修飾語に当たる言葉を探すためには、ほかの部分の内容をくわしく説明する部分で、主語でも述語でもない部分を探してみよう。



復習シート 第四学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



コナド

組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の文の [] の「こそあど言葉」が指していることを、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 きのお、学校の図書館で新しい本を見つけた。わたしは、[] をかりて読んだ。

- 1 きのお
- 2 学校の図書館
- 3 新しい本

レベル7

3

二 家の近くに公園ができた。あす、わたしは[] で友だちと遊ぶよていだ。

- 1 家の近く
- 2 公園
- 3 あす

レベル7

2

埼玉県学力・学習状況調査



コナド

復習シート 第四学年 国語

組
番号
名前

模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の言葉をコンピュータでローマ字入力するとき正しい打ち方を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 日記 **レベル3**

- 1 N I K I
- 2 N I I K I
- 3 N I K K I

3



二 勉強 **レベル3**

- 1 B E N N K Y O U
- 2 B E N K I Y O U
- 3 B E N K Y O -

1



復習シート 第四学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の□の漢字は「音」と「訓」のどちらの読み方をしているでしょうか。「音」または「訓」の読み方をしている漢字を1から3までのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 「音」の読み方をしている漢字 **レベル5**

1 **開**会式を行う。

2 ふたを**開**ける。

3 本を**開**く。

1

二 「訓」の読み方をしている漢字 **レベル5**

1 **合**同

2 **合**体

3 気**合**い

3

埼玉県学力・学習状況調査



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

1 次の文の _____ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から、それぞれ一つえらびましょう。 **レベル3**

(1) シュウ中して勉強する。

- 1 週
- 2 習
- 3 終
- 4 集

4

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

- 1 返る
- 2 買える
- 3 帰る
- 4 代える

3

返る⇨もとにもどす 変える⇨今までとちがったものにする
 帰る⇨もとの場所へもどる 代える⇨あるものに、ほかのものの役目をさせる

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

2 次の _____ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、書きましょう。 **レベル7**

(1) 広間に集まる。

読み方	読み方
ひろま	ひろま
音・訓	音・訓
訓	音

(2) 広大な土地。

読み方	読み方
こうだい	こうだい
音・訓	音・訓
音	訓

中国から入ってきた発音を元にした読み方が「音」です。
 もともと日本にあったことばに漢字を当てはめた読み方が「訓」です。

【文の構成を理解する問題】

3 次の文の主語・述語を _____ 線部1～4の中からそれぞれえらびましょう。 **レベル7**

(1) きのう わたしは 友達と 児童館で 遊んだ。

主語	主語
2	5
述語	述語
2	5

(2) 水族館で 見た 魚には、青く 大きな ひれが あった。

主語	主語
6	7
述語	述語
6	7

主語は、「だれが(は)」「何が(は)」に当たることばです。
 述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの□の中からえらび、二つの文にして書きましょう。

レベル6

雨がふりそうな天気だが、かさを持っていない。



れい たくさん走ったので、足がいたかった。

たくさん走った。

だから

足が痛かった。

雨がふりそうな天気だ。

しかし

かさを持っていない。

だから つまり しかし また

だから||前の文から予想される文が次に来ることを表す。

つまり||前の文についての説明を表す。

しかし||前の文と反対になるような文が次に来ることを表す。

また||前の文に、後ろの文をつけくわえることを表す。

ここでは、「雨がふりそうな天気」に対して「かさを持っていない」と反対の内容が続くため、「しかし」を用います。

【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の□は、何を指していますか。

文章中より書きぬきましょう。

レベル6

近所のおばさんが、水玉もよりのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家遊びに行った。

こそあど言葉は、文章中の言葉を指し示すときにも使います。ここでは「それ」に「着る」が続くため、直前の文の「水玉もよりのブラウス」を示していると分かります。

水玉もよりのワンピース

【反対の意味を理解する問題】

6 □の言葉と反対の意味のことをばを、書きましょう。

レベル5

電車が動く。

止まる

反対の意味の言葉にはいろいろな組み合わせがあります。

例 「上る」と「下る」

「行く」と「帰る」

復習シート 第四学年 国語

模範解答



組
番号
名前

音読み：発音を聞いて、意味がわからないもの
訓読み：発音を聞いて、意味がわかるもの

【「言葉」を問う問題】

1 次の _____ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、えらんで書きましょう。 **レベル7**

手紙を書こうとしたが、なかなか言葉が思いつかず、白紙のままだ。

はくし

音・訓

音

主語とは、文のなかで「だれが（は）」に当たる言葉で、述語は、文章の中で「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる・ない」に当たる言葉です。

2 次の文の主語には _____ を、述語には _____ を引きましょう。

(1) みさきさんが 手紙を 書いた。

(2) きのう、赤い チューリップの 花が きれいに さいた。

(3) 今日の 給食の カレーは、いつもより 具が 大きくて おいしかった。

3 次の文の _____ の言葉を国語辞典で調べます。国語辞典にのっている形をえらんで、（ ）に○をつけましょう。

(1) 今日は のどがいたいので、部屋の中で 本を読もう。

() () 読もう () () 読んだ () (○) () 読む

(2) 自分で育てた ミニトマトの実が 赤くなった。

() (○) () 赤い () () 赤 () () 赤く

いろいろな形を変える言葉は、言い切りの形で国語辞典にのっています。

レベル7

4 | の言葉と反対の意味の言葉を漢字で書きましょう。

レベル2

(1) 今日は、とても寒い。

暑い

(2) 予想が 当たる。

外れる

5 次の文の | は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル7

家に帰ると、テーブルの上に、ケーキがのつていた。わたしは、それを食べてから、遊びに出かけた。

「それ」に「食べる」が続くため、食べたものは、
ケーキです。

ケーキ

6 次の | に当てはまる文と文をつなぐ言葉を | からえらんで書きましょう。

レベル2

前のものと、あとのものからえらぶときに使います。

(1) 次は、ジェットコースターにのりますか。
のりますか。

それとも

、コーヒーカップに

(2) 今日のサッカーのしあいは、負けると思っていた。
勝つことができた。

でも

、三点差で

前の内容と反対のことや、前の部分から予想できない内容が続くときに使います。

(3) 友だちはピアノがひける。

しかも

、ギターもひける。

前のことに、あとのことをつけ加えるときに使います。



だから それとも しかも でも

復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

模範解答

【発表のくふうを考える問題／話の中心をとらえる問題】

1 あおいさんのクラスではスーパーマーケットの店長さんから話を聞き、家の人に向けて発表会を行います。あおいさんのまとめた【店長さんの話】と【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【店長さんの話】

「人がはたらいて」と書いてあることに注目。

【発表原こう】

～ A ～
お店では、やく百三十人の人がはたらいています。品もの※ならべる仕事、レジをうつ仕事、そうざいを作る仕事など、他にもたくさんの仕事があつて、分たんしています。

～かんきよう問題への取り組み～
お店には、リサイクルステーションをおいて、かんやペットボトル、トレーなどの回しゆうをしています。また、家から買い物ぶくろを持ってきてもらい、レジぶくろを使わないような取り組みをしています。

～品物について～
お店には、いつもたくさんの品物ならべてあるようにします。たくさんならべるだけでなく、いつも新せんなものをおいたり、買いやすいように小分けにしたりしています。

みなさんは、スーパーマーケットに、どんなくふうがあるか知っていますか。わたしは、社会科見学でスーパーマーケットに行き、店長さんからお話を聞きました。
お店には、毎日たくさんのおきやくさんが来ます。そのため、売場にはたくさんの品物がならべられています。品物は、新せんなものならぶように気をつけているそうです。
品物をならべる他にも仕事はたくさんあつて、レジをうったり、そうざいを作ったりするそうです。
また、お店にはリサイクルステーションがあつて、空きかんやペットボトル、トレーなどを回しゆうしています。かんきようを考えて、買い物ぶくろを持ってきてもらうようにおねがいしているそうです。
スーパーマーケットには、お客さんのためにも、かんきようのためにも、いろいろなくふうがあることがわかりました。

※そうざい……ごはんなどにそえる、おかずのこと。

(1) 聞いている人によくつたわるように、【発表原こう】ではどのようなふうをしていますか。次からえらび、番号を書きましよう。 **レベル7**

1 しりようを見せて、わかりやすくつたえている。

2 店長さんの話の中からつたえたいことを一つにしぼって、くわしく書いている。

3 問いかけから始めて、聞き手のきよう味を引いている。

4 自分の感想を多く入れて、つたえたいことをまとめている。

はじめの文に「知っていますか」という問いかけの工夫が見られます。人に何かをつたえる時には、つたえる内ようや目的をはっきりさせたり、しりようをもとにせつ明したり、聞き手に合わせた言葉づかいを考えたりすることが大切です。教科書で学習した発表のしかたを、かくにんしてみましよう。

3

(2) 【店長さんの話】の **レベル7** A にあてはまることばを、次からえらび、番号を書きましよう。

1 お店のくふう

2 はたらく人について

3 お客さんについて

4 売り場のようす

2

「人がはたらいています。」
「仕事があつて、分たんしています。」という言葉から、はたらく人について話している事がわかります。
話を聞く時は、話の中心（話し手がいちばん話したいこと）に気をつけて聞くことが大切です。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

レベル7

ゆう子さんが、消ぼうしよの、しよ長さんにインタビューしています。

ゆう子 「こんにちは。わたしは、南小学校の町田ゆう子です。今日は消ぼうし署のことについて聞きにきました。よろしくおねがいます。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

しよ長 「ここではたらいっている人は、約百人です。火事が起きたときなどには、消ぼうし隊がきゆう助隊、きゆう急隊などの部たいに分かれて仕事をします。」

ゆう子 「いろいろな部たいがあるんですね。その中で、消ぼうし隊の人は、
A

しよ長 「消ぼうし隊の人の仕事は、火事の知らせがあつたら、いち早く出動し、出火をくい止めることです。」

ゆう子 「さい後に、
B を教えてください。」

しよ長 「この地いきの火事の一発の原いんは、放火です。次は、たばこの火の消しわすれ。その次は、たき火です。みなさんも、あぶないので火遊びはぜつ対にやらないでくださいね。」

ゆう子 「はい。わかりました。今日はいろいろと教えていただき、ありがとうございました。」



ゆう子さんは、しよ長さんにどんなことを聞いていますか
にあてはまる、ゆう子さんが言った言葉を書きましよう。

A

B

A 「その中で、消ぼうたいの人は、

どのような仕事をしているのですか

」

※同様の答えは正解とします。

B 「さい後に、

この地いきの火事の原いん

を教えてください。」

※同様の答えは正解とします。

ゆう子さんは、しつ問をしていて、そのしつ問にしよ長さんが答えています。
つまり、ゆう子さんのしつ問の内容は、その後のしよ長さんの話の中から考えることが
できます。

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【「話すこと・聞くこと」の問題】

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

まゆみさんが、南町図書館の館長さんにインタビューをしています。

まゆみ 「こんにちは。わたしは、南小学校の北川まゆみです。きょうは、館長さんに図書館のことを聞きにきました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

館長 「わたしもふくめて全員で四十人です。多くの仕事があるので、みんなで手分けをしてはたらいっています。」

まゆみ 「たくさんの方がはたらいっているんですね。ここではたらいっている人は、
A

館長 「図書館での仕事は、本のかし出しや本の相談、図書館のそうじなどをして
います。来てくれた子どもたちに読み聞かせもします。」

まゆみ 「いろいろな仕事があるんですね。
この図書館には
B

館長 「この図書館は、日本のお話や外国のお話、絵本などたくさん本があります。とくに、子ども向けの本がたくさんそろっているので、たくさんの子
どもたちに来てもらい、本を読んでほしいですね。」

まゆみ 「わたしも本を読みに来たくなりました。たくさんのことを教えていただき、
ありがとうございました。」

一 インタビューの A と B の部分で、まゆみさんは、館長さんにどんなことを聞いていますか。 に当てはまるように、まゆみさんが言った言葉を考えて書きましよう。

レベル6

(1)

「たくさんの人がはたらいているのですね、ここではたらいている人は、

A

どのような仕事をしていますか。

」

※同様の答えは正答とします。

(2)

「いろいろな仕事があるのですね。この図書館には

B

どのような本がありますか。

」

※同様の答えは正答とします。

まゆみさんのしつ問に対して、館長さんが答えています。つまり、まゆみさんのしつ問の内容は、 A B の後の館長さんの話から考えることができます。

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

復習シート 第四学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【話すこと・聞くこと】を問う問題】

- 1 山田さんは、「カニ」について調べて分かったことを発表しました。発表する内容と発表のときに使用した資料を読んで次の問いに答えましょう。

レベル5

【山田さんが発表する内容】

わたしは、海の生き物が好きです。そこで、カニについて調べてみると、おもしろいことが分かったので発表します。

カニのなかまには、十本のあしがあります。腹部は短く、こうらの下におりたたまれているのとくちょうです。ズワイガニは、食用として広く知られているので、食べたことがある人もいます。かもしれませんが。タラバガニもよく食べられています。けれども、タラバガニは、カニのなかまではありません。タラバガニはカニのような姿ですが、実はヤドカリのなかまです。よく見ると、タラバガニは見えているあしの数が八本しかないのです。

わたしは、ズワイガニもタラバガニも、同じカニのなかまだと思っていましたが、タラバガニはヤドカリのなかまだと知っておどろきました。今度、水族館へ行って、タラバガニの見えているあしの数をたしかめてみたいです。

（1）タラバガニの絵は、アとイのどちらでしょう。

【発表のときに使用した資料】

ア



イ



ア

「中」の部分に書かれている、ズワイガニとタラバガニのあしの数のちがいをくわしく読みましょう。

(2) 山田さんの発表内容はどのような組み合わせでできていますか。当てはまるものの番号をえらびましょう。

レベル7

- 1 はじめに、聞いているみんなに問いかけてから話しはじめています。
- 2 はじめに、説明したい物について言うてから話しはじめています。
- 3 理由を説明してから話しはじめています。
- 4 水族館へ行く前に調べたことと、行ったあとにわかったことを分けて書いている。

2

「はじめ」の部分にはどんなことが書かれているか、くわしく読んでみましょう。



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【条件に沿って理由をあげて自分の考えを書く問題】

①

入学したばかりの一年生にあなたの学校のおすすめの場所について、発表します。

あなたが、一年生の子たちに教えたい場所はどこですか。

あなたが教えたい場所と、その場所を教えたい理由を、次の〈注意〉をよく読んで、書きましょう。

レベル7

〈注意〉 1 二段落で、四行以上、五行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが一年生の子たちに教えたい場所を書くこと。

3 二段落目には、あなたがその場所を教えたい理由を書くこと。



わたしが、一年生に教えたい場所は、校庭のさくら並木です。

理由は、春になると、さくらの

花が咲いて、とてもきれいだから

です。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【条件に沿って書く問題】

- 1 Aさんは、国語の学習でいろいろな遊びについて調べ、そのルールについてまとめました。メモ①②③の中から、あなたが遊んでみたいものをえらび、〈注意〉をまもって書きましよう。

レベル7

メモ

②三色おぼろ（おぼろ）ゲーム

- ①まず集まった人を、「青組」「赤組」「白組」の三つに分ける。
（色は何色でもよい。人数によっては、チームの数をふやすこともできる。）
- ②青は赤からにげ、赤は白からにげ、白は青からにげる。タッチをされたら、そのじんちに連れていかれる。
- ③決められた時間をたたかい、相手をつかまえた数をもっとも多かったチームが勝ちとなる。

③聞き耳ゲーム

- ①四〜五名のグループになり、聞き取り役を一名と言葉を言う人に分ける。
- ②言葉を言う人たちでテーマを話し合い、テーマにあった言葉をそれぞれ決める。
（例）テーマがくだもの・言葉を言う人が四人の場合
Aさん↓りんご、Bさん↓バナナ、Cさん↓パイナップル、Dさん↓みかん
- ③合図で、言葉を言う人が決めた言葉をいっせいに言う。
- ④聞き取り役は、聞こえた言葉から、テーマを当てる。
- ⑤聞き取り役がテーマを当てたら、聞き取り役の勝ちとなる。

④ろくむしゲーム

- ①二十メートルほどはなれた場所に二つ円をかく。
- ②二人のオニと、子（オニいがい）を決める。
- ③二人のオニは、子をねらってボールを投げ合う。子はオニが投げるボールをよくながら、はなれた円の間を行き来（おうふく）する。
- ④ボールに当たらずに「おうふくしたら」「いちむし」まで行けば子の勝ちとなる。し・・・となり、「ろくむし」まで行けば子の勝ちとなる。

- 〈注意〉
- 1 二段落で、五行以上、六行以内で書くこと。
 - 2 一段落目には、遊んでみたいと思った遊びの名前をメモ⑦⑧⑨の中からえらんで書くこと。
 - 3 二段落目には、えらんだ理由を書くこと。

正解の判断について
 ・一段落目には、メモ⑦⑧⑨の遊びの中から選んで書いていること。
 ・二段落目には、ゲームの内容について理解し、遊んでみたい理由が五行以上六行以内で書いていること。

〈三色おにごっこゲームの解答例〉

	わ	た	し	が	遊	ん	で	み	た	い	の	は	、	三
	色	お	に	ご	っ	こ	ゲ	ー	ム	で	す			
	理	由	は	、	ふ	つ	う	の	お	に	ご	っ	こ	と
	は	ち	が	い	、	お	い	か	け	て	ば	か	り	だ
	他	の	チ	ー	ム	に	つ	か	ま	っ	て	し	ま	う
	こ	ろ	が	楽	し	そ	う	だ	か	ら	で	す		

〈聞き耳ゲームの解答例〉

	わ	た	し	が	遊	ん	で	み	た	い	の	は	、	聞
	き	耳	ゲ	ー	ム	で	す							
	理	由	は	、	一	度	に	た	く	さ	ん	の	人	の
	言	葉	を	聞	け	な	く	て	も	、	何	人	か	の
	葉	を	聞	き	取	っ	て	、	テ	ー	マ	を	当	て
	れ	そ	う	だ	か	ら	で	す						

〈ろくむしゲームの解答例〉

	わ	た	し	が	遊	ん	で	み	た	い	の	は	、	ろ
	く	む	し	ゲ	ー	ム	で	す						
	理	由	は	、	動	き	が	ド	ツ	ジ	ポ	ー	ル	み
	た	い	で	分	か	り	や	す	い	し	、	よ	け	な
	ら	走	る	の	は	楽	し	そ	う	だ	か	ら	で	す



〈バスの解答例〉

	で	か		き	
	行	る	な	ま	わ
	け	け	ぜ	す	た
	る	れ	な	。	し
	か	ど	ら		は
	ら	、	、		、
	で	短	お		バ
	す	い	金		ス
	。	時	は		で
		間	か		行

〈自転車の解答例〉

	気	転		行	
	持	車	な	き	わ
	ち	で	ぜ	ま	た
	が	下	な	す	し
	い	る	ら	。	は
	い	と	、		、
	か	、	坂		自
	ら	楽	道		転
	で	だ	を		車
	す。	し	自		で

〈歩きの解答例〉

	う	な	か		き	
	だ	下	る	な	ま	わ
	か	り	け	ぜ	す	た
	ら	坂	れ	な	。	し
	で	で	ど	ら		は
	す	歩	、	、		、
	。	き	ゆ	時		歩
		や	る	間		き
		す	や	は		で
		そ	か	か		行

正解の判断については、
 ・ 一段落目には、歩き・自転車・バスのうち、いずれか一つを選んで書いていること。
 ・ 二段落目には、三つの方法の特徴を理解した上で、選んだ理由を四行以上六行以内で書いていること。

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

親子の銀ぎつねは、ほら穴あなから出ました。子どものほうは、お母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから真ん丸な目をぱちぱちさせながら、あっちやこっちを見ながら歩いていきました。

やがて、ゆくてにぼつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どものきつねが見つけて、

「母ちゃん、お星様は、あんな低い所ひくにも落ちてるのねえ。」
と聞きました。

「あれはお星様じゃないのよ。」
と言って、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは町ちの灯なんだよ。」
その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達ともだちと出かけて行って、とんだめにあったことを思い出しました。およしなさいって言うのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、お百しように見つかって、さんざ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行こうよ。」
と、子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのです。

（出典 新美南吉 「手ぶくろを買いに」）

1) 子どものきつねは、町ちの灯あかりを見て、何と間ちがえたのでしょうか。

三字で書きぬきましょう。 **レベル6**

**お
星
様**

「町の灯」の前にある、「あれ」が指し示している言葉を探します。

「あれはお星様じゃないのよ。」 「あれは町の灯なんだよ。」という

母ぎつねの言葉から、「お星様」が答えとなります。

(2) 母さんぎつねの足がすくんでしまったのはなぜですか。もっともふさわしいものを、次の1〜4の中から一つえらびましょう。

レベル7

- 1 子どものきつねが、お星様が低い所に落ちていると言ったことにおどろいたから。
- 2 あるとき、母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかったしまい、がっかりしたことを思い出したから。
- 3 あるとき、お友達のかつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかった。命からがらにげたことを思い出したから。
- 4 あるとき、お友達のきつねが、言うことを聞かずにあひるをぬすもうとしたことにはらが立ったことを思い出したから。

3



「足がすくむ」とは、緊張や恐怖で足がこわばって動けなくなることを。母さんぎつねが町の灯を見た時に思い出したことを読み取りましょう。思い出したことは、「母さんぎつねの足はすくんでしまいました。」の後に書かれています。

- 1は、おどろいたからではないので不正解。
- 2は、「母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとした」が間ちがい。
- 3は、正解
- 4は、「はらが立った」わけではないので不正解。

復習シート 第4学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

そこで、しかたがないので、ぼうやだけを一人で町まで行かせることにしました。「ぼうやお手々をかた方お出し。」とお母さんぎつねが言いました。その手を、母さんぎつねはしばらくにぎっている間に、かわいい人間の子どもの手にしてしまいました。ぼうやのきつねはその手をひろげたり、にぎったり、つねって見たり、かいで見たりしました。「何だか変だな母ちゃん、これなあに？」と言って、雪あかりに、またその、人間の手にかえられてしまった自分の手をしげしげと見つめました。

（出典 新美南吉 「てぶくろを買いに」）

(1) お母さんぎつねは、ぼうやのかた方の手を何にしてしまいましたか。文中からぬきだして十二字で書きましょう。

レベル7

か
わ
い
い
人
間
の
子
ど
も
の
手



問題文の「何にしてしまいましたか。」と同じ文に目をつけて、文中からびつたり
の言葉を探してみましょう。

(2) きつねのぼうやが、自分の手をしげしげと見つめたのはなぜですか。もつともふさわしいものを、次の1〜4の中から一つえらびましょう。

レベル6

- 1 はじめて見る人間の手がめずらしくて、ふしぎに思ったから。
- 2 はやく母さんぎつねと手をつなぎたかったから。
- 3 手の上に雪が落ちてきて冷たくて気持ちが悪かったから。
- 4 人間の手にかえられてしまったことがいやだったから。

1

しげしげとは、物をじっとよく見るという意味があります。言葉の意味と文中の子ぎつね言葉からもつともふさわしい子ぎつねの気持ちを考えてみましょう。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

（※川の中の魚の子供と母親の様子があがられている場面です。）

花は、水の上に浮かんで、流れ流れてゆきました。しかし、後から、後から、花がこぼれ落ちてきました。

「どんなに、おいしかろう。」といって、三びきの魚の子供は、ついにその花びらをのんでしまいました。

その子供らの母親は、その翌日、我が子の姿を見て、さめざめと泣いたのです。「あれほど、花びらをたべてはいけないといったのに。」といいました。

黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、たからです。

【中略】

（※町の人間の子供と母親の様子があがられている場面です。）

町では、子供たちの母親が心配いたしました。

「どうして、そう毎日川へばかりゆくのだえ。」と、子供たちをわかりました。

「だって、赤い魚がいるんですもの。」と、子供は答えました。

「ああ、昔から、あの川には赤い魚がいるんですよ。しかし、それを捕らえるとよくないことがあるというから、けっして、川などへいってはいけません。」と、母親はいいました。子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。どうかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、川のふちへきてはうろついていました。

（出典 小川 未明 「赤い魚と子供」）

（1） _____ アの「それ」とは何のことですか。三字で書きぬきましょう。レベル6

「それ」の前にある言葉をさがします。捕らえるものは「赤い魚」であることがわかります。

赤
い
魚

(2) ———— イの後、子供たちがどうしたのかをまとめた文の□に当てはまる言葉を文中からさがし、それぞれ四字で書きぬきましょう。レベル6

母親が言ったことを

ほ ん と う

にはせず、赤い魚を捕ま^{つか}えるために

川 の ふ ち

をうろついた。

——— イの後の子供たちの様子を読みとります。

・子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。

・(子供たちは) どうにかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、

川のふちへきてはうろついています。

——— という内容から、□に合うように言葉を書きぬきます。

(3) さめざめと泣いたので。の理由として、もっともふさわしいものを次の1～4の中から一つえらびましょう。レベル6

- 1 子供の魚の色が変わってしまったから。
- 2 赤色や白と赤の斑色の花が流れてきたから。
- 3 子供の魚が、病気になってしまったから。
- 4 三匹の子供のうち、一匹がいなくなってしまったから。



1

理由をたずねる問題です。理由を表すときには、「～から」「～ので」「～ため」などの言葉を使って書かれることが多くあります。この文章中では、「黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので。」とあり、子供の魚の色が変わってしまったことが理由だとわかります。

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

あめだまは、もう一つしかありませんでした。
 「あたしにちょうだい。」「あたしにちょうだい。」
 ふたりの子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つしかないので、お母さんはこまってしまいました。

「いい子たちだから待っておいで、向こうへついたら買ってあげるからね。」
 と言って聞かせても、子どもたちは、ちょうだいよ、ちょうだいよ、とだだをこねました。いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。お母さんは、おどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、と思いました。

「おとなしくしておいで。」
 と、お母さんは子どもたちをなだめました。けれど、子どもたちはききませんでした。すると、さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました。お母さんは、まさおになって、子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです。
 「あめだまを出せ。」
 とさむらいはいいました。
 お母さんは、おそろおそろあめだまをさしました。さむらいは、それをふねのへりにのせ、刀でぱちんと二つにわりました。そして、
 「そおれ。」

と二人の子どもに分けてやりました。(出典 新美南吉 「飴だま」)

(1) どうして、お母さんは子どもたちをなだめたのですか。

レベル6

- 1 子どもたちにあめだまをあげたかったから。
- 2 さむらいが、いねむりをじゃまされたのでおこっていると思ったから。
- 3 さむらいが、あめだまを刀でぱちんと二つにわったから。
- 4 子どもたちがあそびたいといったから。

2

「おとなしくしておいで。」と、なぜ、お母さんが子どもたちをなだめたのかは、直前の文「いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない」に着目して考えます。



(2) 何を二人の子どもに分けたのですか。四字で書きましょう。

レベル7

あ
め
だ
ま

さむらいが、刀で二つにわったものが、何かを読み取ります。
直前の「それをふねのへりにのせ」の「それ」が指し示している言葉を
さがします。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の主語には _____ を、述語には _____ を引きましよう。 **レベル7**

(1) 黄色い 花が さいている。

(2) ゆうとさんが 重い 荷物を 持った。

(3) きのう 母から もらった チョコレートは とても おいしい。

主語は「だれが（は）」に当たる言葉です。
述語は「どうする」「どんなだ」「何だ」
「ある・いる・いない」に当たる言葉です。

2 次の1～4の言葉を国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましよう。 **レベル7**

(1) 1 いちご

2 イチジク

3 イタチ

4 イチョウ

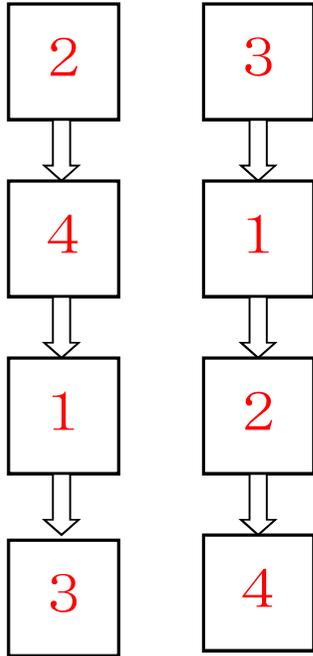
(2) 1 ボール

2 プール

3 ポール

4 ホール

辞典には
①「は・ひ」
②「ば・び」
③「ぱ・ぴ」
の順で出てき
ます。



3 次の文の _____ 線部がくわしくしている言葉を1～3の中からそれぞれ一つえらんで番号を書きましよう。 **レベル7**

(1) 大きな犬が庭を走っている。

1 犬が

2 庭を

3 走っている

(2) 柱にかかっている白い時計は少しおくらしている。

1 白い

2 時計は

3 おくらしている

「どんな」「どのくらい」のように
他の言葉や文の意味を
くわしくする言葉を
「修飾語」といいます。



復習シート 第四学年 国語

【「言葉」を問う問題】

4 ローマの正しい書き表し方を1〜3の中から一つ選びましょう。
レベル5

- 1 スキップ
s u k k i p u
- 2 ノート
n o u t o
- 3 でんしゃ
d e n s y a

3

のばす音は、a・i・u・
e・oの上に「^」をつけて
書き表します。

5 次の文の _____ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものを1〜4の中から
それぞれ一つ選びましょう。
レベル6

(1) 四年生の教室は、校しやの三カいにある。

- 1 回
- 2 会
- 3 貝
- 4 階

4

(2) 自ドウ車^が走っている。

- 1 道
- 2 動
- 3 童
- 4 同

2

同じ発音の言
葉でも、意味
がちがえば、
使われる漢字
がちがってき
ます。

6 次の _____ の漢字の読みがなを (_____) に書き、「音読み」の場合は1、
「訓読み」の場合は2をそれぞれ選びましょう。
レベル7

(1) 羊毛でできた服 (もう) 1 音読み 2 訓読み
1

(2) 毛糸でマフラーをあむ (け) 1 音読み 2 訓読み
2

復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

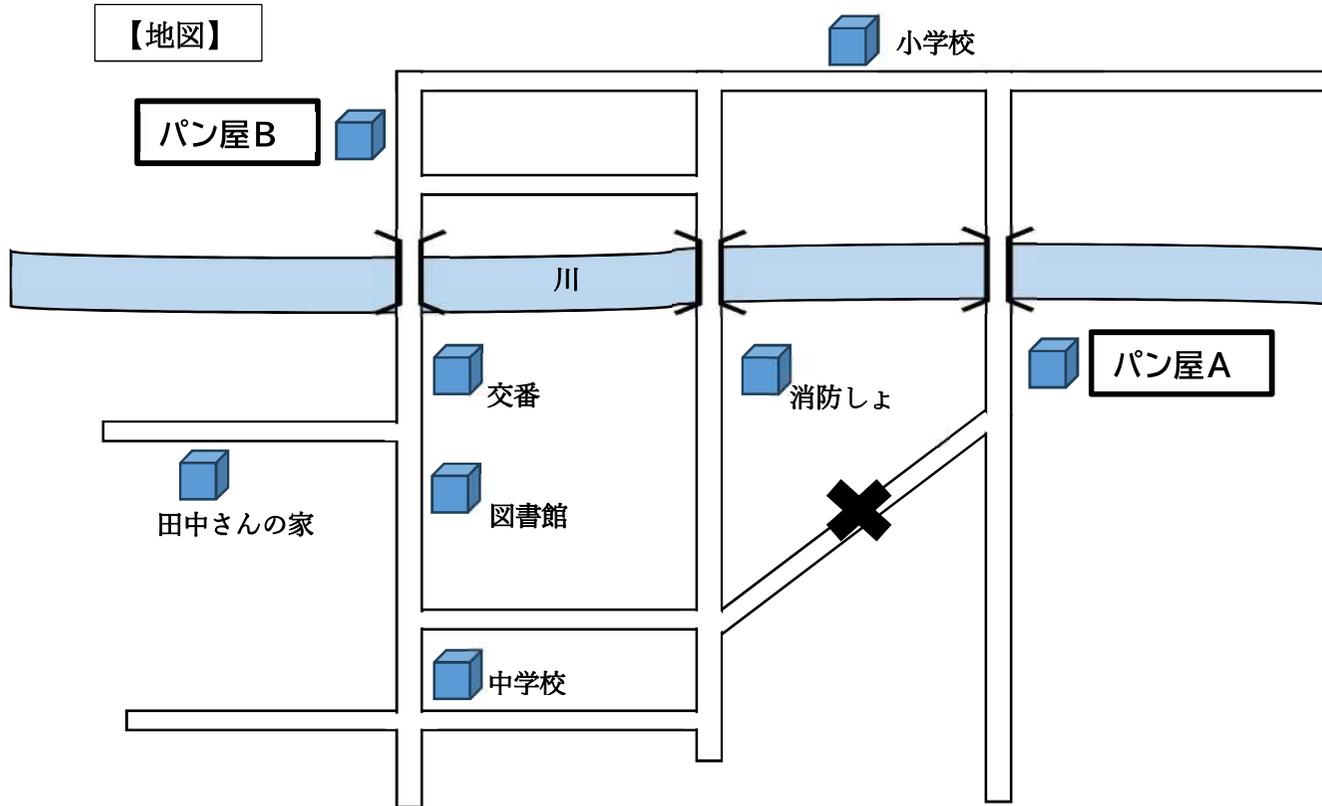
模範解答



【話すこと・聞くこと】を問う問題

1 田中さんは、おうちの人からおつかいをたのまれました。

【おつかいの内容】と【地図】を見て、次の問いに答えましょう。



【おつかいの内容】

- ・ 図書館で本を返す。
- ・ パン屋さんでパンを買う。
- ・ 図書館に先に行き、その後にパン屋さんによって帰ってくる。

(1) おうちの人は田中さんに、【おつかいの道じゅん】を次のように伝えました。【おつかいの道じゅん】の説明が正しくなるように、空らん①～⑤に当てはまる内容を、【せんとくし】ア～オの中から一つずつえらび、記号で答えましょう。

レベル7

【おつかいの道じゅん】

おつかいの道じゅんを説明するから、よく聞いてね。家を出たら右に進んで、つきあたりを右に曲がってね。

①

②

進んでいくとななめに進む道が正面に出てくるよ。

③

④

⑤

すると、すぐに左にパン屋さんがあるよ。パンさんは二つあるけど、まちがえないように気をつけてね。きちんと本を返して、おいしいパンを買ってきてね。

【せんとくし】

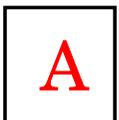
- ア すると、すぐ左に図書館があるから、そこで本を返してね。
- イ そのまままっすぐ進んで、消防しょの先にある橋を渡った先のつきあたりで右に曲がるよ。
- ウ 少し進んで、小学校をすぎたらすぐに右へ曲がってもう一度橋をわたってね。
- エ この道を通ると近道なんだけど、今日は工事中で通れないからななめの道に入る前に、左に曲がってね。
- オ 図書館を出たら左に進んで、一つ目の曲がり角を曲がってまっすぐ進んでね。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

(2) おうちの人が田中さんに伝えたパン屋さんは、【地図】の中のAとBのどちらですか。記号で答えましょう。

レベル6

自分が本当に歩いたとき、自分の正面はどこを向いているか考えよう。また、地図上の建物がせんとくしの中に出てきていないかな。





正答の条件

- ① 調べたいこん虫の名前を三つの中から一つ選んでいる。
- ② ①で選んだこん虫について、調べたい理由を「かんさつカード」に書かれたことと関連付けながら、十五字以上四十字以内で書いている。

に	い	た	わ
な	と	い	た
っ	高	の	し
た	く	は	が
か	と	、	ト
ら	べ	な	ン
で	る	ぜ	ボ
す	の	す	を
。	か	い	調
	気	す	べ

(三十九字)

【トンボの解答例】

	か	ジ	バ
	っ	ヤ	ツ
	こ	ン	タ
	い	プ	の
	い	す	足
	か	る	は
	ら	と	大
	。	こ	き
		ろ	く
		が	て

(二十八字)

【バッタの解答例】

	で	き	チ
	す	れ	ヨ
	。	い	ウ
		だ	の
		か	羽
		ら	の
		調	も
		べ	よ
		た	う
		い	が

(二十三字)

【チョウの解答例】

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1

次の問題を解きなさい。

みちこさんが、小鳥屋のまえまでくると、知らないおばさんが、うばぐるまのなかの荷物をなおしていました。あかちゃんがついて、かきまわしたのです。

あかちゃんは、ぶうぶういいながら、かあちゃんのじゃましていました。
みちこさんは、おばさんのそばによって、

「あかちゃんだいてあげましょうか。」
といました。

「ええありがとう、でもおいたぼうで、とつてもおもいのよ。」

「いいおばさん。」

「すみませんね。」

おばさんはあかちゃんをみちこさんにだっこさせてくれました。みちこさんのうでに、おちちくさい、白いパジャマのかわいらしいあかちゃんが、だかれました。

みちこさんは、

「ちゅちゅつ、ほらほら。」

と小鳥を見せてやりました。

けれど、あかちゃんは、小鳥を見ないで、みちこさんの顔を見てにっこりわらいました。それから、おつてでみちこさんのネクタイをつかみました。みちこさんは、かわいい手だなと思いました。

そのうちにおばさんはすっかりうばぐるまのなかをかたづけ、
「すみませんでした、ほんとうに。」

といました。あかちゃんはまたうばぐるまにのつけられて、いってしまいました。

みちこさんは、まだあかちゃんをだっこしているような手つきをしておうちへ帰ってきました。
お母さんはみちこさんを見ると、

「なにをそんなおかしな手つきしてるの。」

と、ふしぎそうな顔をしました。

「わたしね、どこかのかわいいあかちゃんをだっこしたのよ。わたしの顔を見てわらったわ。」

「ふーん。」

「あんまりかわいかったので、まだだっこしているつもりで帰ってきたのよ。お母さん、ほらおちちのにおいがしてるわ。」

といてみちこさんはむねのあたりをかぎました。お母さんは、みちこさんはいい子だなと思いました。

（出典 新美南吉 「みちこさん」）

(1) みちこさんは、だれに小鳥を見せてやりましたか。文中から書きぬきましょう。

レベル6

あかちゃん

登場人物の言動を読み取ります。四行目からの「けれど、あかちゃんは、小鳥を見ないで・・・」に着目すると、みちこさんがあかちゃんに小鳥を見せたのだと分かります。

(2) みちこさんが、おばさんに「あかちゃんだいてあげましょうか。」と言ったのはなぜですか。次の1〜4の中からえらびましょう。

レベル6

- 1 あかちゃんが、うばぐるまからおりたそうにして、なっていたから。
- 2 あかちゃんが荷物をなおすじやまをして、おばさんがごまっついていそうだったから。
- 3 おばさんのお手伝いをする時、みちこさんのお母さんにほめられるから。
- 4 みちこさんが、うばぐるまの中のあかちゃんをだっこしてみたくなくなったから。

2

登場人物の心情として適切なものを選択します。あかちゃんが荷物をかきまわしたり、じやまをしりしておばさんがごまっついていようか。おばさんを助けようと思うみちこさんの気持ち。「だいてあげましょうか。」という言葉につながります。

(3) みちこさんが、まだあかちゃんをだっこしているような手つきをしておうちへ帰ってきたのはなぜですか。みちこさんの気持ちをまとめた次の文の□にあてはまる言葉を、文中から六字で書きぬきましょう。

レベル7

さつきまでだっこしていたあかちゃんが、あんまり

□

ので、

まだあかちゃんをだっこしているつもりで帰ってきた。

かわいかった

登場人物の心情をまとめた文にあてはまる言葉を文中から書きぬきます。文中に繰り返し出てくる「かわい」という言葉からあかちゃんに対するみちこさんの心情が読み取れます。また、理由を表す、「〜から」「〜ので」という言葉に着目すると、「かわいかった(ので)」が適切であると分かります。

補足 問題文について

※会話文に続く文（例えば、「といいました。」）について、教科書では改行して表記してあり、作文等では児童にも改行して記述するように指導していることから、出典の表記を変えて問題文を作成しました。原文は次の通りです。

みちこさんが、小鳥屋のまえまでくると、知らないおばさんが、うばぐるまのなかの荷物をなおしていました。あかちゃんがついて、かきまわしたのです。

あかちゃんは、ぶうぶういいながら、かあちゃんのじやましていました。

みちこさんは、おばさんのそばによって、

「あかちゃんだいてあげましょうか。」といいました。

「ええありがとう、でもおいたぼうで、とっもおもいのよ。」

「いいわおばさん。」

「すみませんね。」

おばさんはあかちゃんをみちこさんにだっこさせてくれました。みちこさんのうでに、おちちくさい、白いパジャマのかわいらしいあかちゃんが、だかれました。

みちこさんは、

「ちゅちゅつ、ほらほら。」と小鳥を見せてやりました。

けれど、あかちゃんは、小鳥を見ないので、みちこさんの顔を見ていてにっこりわらいました。それから、おてでみちこさんのネクタイをつかみました。みちこさんは、かわい手だなと思いました。

そのうちにおばさんはすっかりうばぐるまのなかをかたづけ、

「すみませんでした、ほんとうに。」といいました。あかちゃんはまたうばぐるまのつけられて、いってしまいました。

みちこさんは、まだあかちゃんをだっこしてるような手つきをしておうちへ帰ってきました。

お母さんはみちこさんを見ると、

「なにをそんなおかしな手つきしてるの。」と、ふしぎそうな顔をしました。

「わたしね、どこかのかわいいあかちゃんをだっこしたのよ。わたしの顔を見てわらったわ。」

「ふーん。」

「あんまりかわいかったのよ、まだだっこしているつもりで帰ってきたのよ。お母さん、ほらおちちのにおいがしてるわ。」と、みちこさんはむねのあたりをかぎました。お母さんは、みちこさんはいい子だなと思いました。

（出典 新美南吉 「みちこさん」）